

市民クラブ 通信

八千代市議会 活動レポート

発行 市民クラブ 発行責任者 林 隆文 千葉県八千代市八千代台西9-5-6 3-203

2020年4月号



「持続可能な市政運営へ」



会派代表 林 隆文

この度、市民クラブの代表となりました林 隆文でございます。会派内はもちろんですが、八千代市議会全体を通しての調整役として、尽力して参りたいと思います。また、市政においては、特に観光推進、スポーツ推進、公共施設の再編に力を入れていきたいと思っております。時代の転換期である今こそ、時代に合った施策を実行していくことが政治に課せられた使命であります。今後も八千代市発展の為、市政に取組んで参りますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



八千代市議会副議長 小澤 宏司

2020年、東京オリンピックを控える大事な年に副議長という重要な職責を担う事となりました。いつも支えて頂いている皆様の期待にしっかりと応えていけるよう精一杯頑張っております。市民クラブは風通しよく、ベテラン議員から新人議員まで自由闊達な話し合いが行われております。お困りの際はお近くの市民クラブ議員までご連絡ください。会派一丸となって問題解決に取り組んでまいります。



西村 幸吉

令和2年度予算審査特別委員会の委員長を拝命。予算規模は一般会計582億5千万円、特別会計321億2194万7千円、合計903億7194万7千円。市財政の現状と課題を分析し、施策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底排除することで、少子高齢化に対応した、暮らしの安全安心を推進していく。経常収支比率は過去20年間でも最高の97.1%。財政健全化に向けた抜本的な取り組みが重要課題。歳入に見合った予算編成を行う為、行政サービスのあり方を再検討し、大胆な見直しを図る必要があります。



嵐 芳隆

日本国中が新型コロナウイルスで疲弊している中、私たち市議会議員が何をすべきかそして何が出来るのか冷静にしっかり考えて行動して参ります。また、東葉高速の通学定期料金の引き下げ、市庁舎整備の問題など常に訴えて参ります。私は日ごろから常に念頭に置いている後藤新平さんの自治三訣「人のお世話にならぬよう、人のお世話をしよう、そして報いを求めぬよう」を基本理念として令和2年度も頑張っておりますので皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



澤田 新一

議員として1年が経過し、2回程個別質問をさせていただきました。その中でも、空き家や農地の耕作放棄地等の土地に関する問題や、老朽化する公共施設や公共施設の再配置の問題・保育園や学童保育の待機児童に関する問題等を指摘させていただきました。本市はもうじき20万人都市となりますが、少子高齢化や人口減少の問題は避けて通れない状況です。未来の八千代市のあるべき姿を見据え、「住んでよかった・住み続けたい」と思える街づくりに貢献していきたいと思っております。



花島 美記

わたくしは市議となり、あらためて「市民力」の高さを感じました。皆さんと一緒に汗をかき、声を上げ、知恵を絞ることの大切さも同時に感じております。バラを生かしたまちづくり、イメージキャラクター「やっち」の活用、青少年健全育成、要望が一つずつ叶えられる喜びも知りました。市民と行政の「協働」が市政です。住む人はもちろん、周りからも「八千代市、いいね!」と感じてもらえるよう、何事もやり遂げる覚悟を持って会派メンバーと共に市政に邁進して参ります。

市民クラブでは今、こんなこと推進しています

東葉高速鉄道

通学定期の値下げ



公共施設マネジメント

「少年自然の家」存続要望



教育行政

阿蘇米本地域の小中一貫校



高齢者支援

生きがいづくり、フレイル



ウィルス対策

新型コロナウイルス
新型インフルエンザ



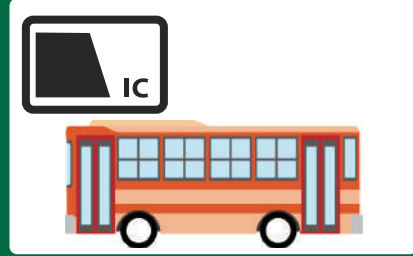
エレベーター設置

八千代台駅 2020年7月 開設予定
勝田台駅 協議中 近年開設目標



東洋バスIC化

2020年3月15日 利用開始



観光推進

かわまちづくり・ばらのまちづくり





西村幸吉議員

次期総合計画

問 市長公約「マニフェストをどう盛り込んでいくのか。」

答 私の政治信条に基づく政策を実現するために、計画期間中の実現性を勘案しつつ、調整を加え、公約を有効性のある施策に転換し、総合計画の施策体系に位置づけていきたいと考えています。(市)

要望 次期総合計画の策定に当たり、議員が意見を述べる機会を多くつくるよう要望。

地域コミュニティ

問 コミュニティセンターの設置について、進捗は。

答 現在の財政状況や八千代市公共施設等総合管理計画を考慮しつつ検討を進めていきたいと考えています。(総)

要望 上高野地区の方々から多くの要望が寄せられているコミュニティセンターの設置について、次の総合計画に盛り込み、早期の実現を。

介護保険サービス

問 介護職員の確保のための支援の取り組みは。

答 平成29年度から介護職員初任者研修に要する経費に対する補助を開始していますが、今後も他市の取り組み等を参考に調査・研究していきたいと考えています。(健)

中央図書館

問 自動出納書庫の設置は。

答 導入に向け、関係機関と協議していきたいと考えています。(教)

要望 自動出納書庫が整備されれば、もっとスピーディーに貸し出しができ、本の返却後の作業も短時間でできるため、次の総合計画で設置について盛り込むよう要望。

澤田新一議員

公共施設整備について

問 児童発達支援センター・すてっぷ21大和田の施設整備計画は。

答 昨年11月に近隣住民の方へアンケートを実施。令和2年度、既存建物の解体設計と並行し、新施設の基本設計・実施設計を行い、令和3年度に解体工事を行い、令和4年度中に新施設の建設工事着手の予定となっており、令和5年度中の開所を目指しております。(子)

要望 整備計画を進めるにあたっては段階を踏んでしっかりと説明をしていただき、特に近隣住民の方々や関係者に対しては丁寧な対応をお願いするとともに、寄せられたご意見を考慮しながら、説明会等を開催し近隣住民の方の理解と協力を得ることを要望。

空き家対策

問 空き家等対策計画の策定・空き家対策協議会設置の見通し

答 令和2年第1回定例会で条例を制定し「八千代市空き家等対策協議会」を設置する。協議会の設置とあわせて、令和2年度に空き家等対策計画の策定を予定しております。(都)

要望 協議会設置とあわせて空き家バンクを創設すれば、市街化調整区域内の「農地付空き家」の流通が可能となると考えるため、空き家バンクの創設を要望。

花鳥美記議員

シティセールス

問 「やちちブランドセレクション」の今後の展開は。

答 今年度新たに認定を行う民芸品や工芸品などあわせ、昨年度の認定品を、市内の大型店3店において、展示販売を実施し、商工業の振興と活性化に努めます。(経)

指摘 大型スーパーだけでなく、商店街や駅構内での展開も検討すべきと考えます。

国際交流

問 アメリカ合衆国テキサス州タイラー市との今後の姉妹都市交流の方向性を、どのように考えているのか。

答 国際交流協会と密に連携を図りながら、これまで両市が歩んできた姉妹都市の歴史と交流事業をより多くの市民に知っていただくよう努めていきます。(企)

要望 姉妹都市交流は市が主導していくべきときが来ていると思いきや、交流に対して気おくれすることや放置することのないよう、市長に対応を強く要望しました。

小澤宏司議員

来年度予算

問 今後想定される大規模事業はどのようなものがあるか。

答 児童発達支援センターの建てかえ、旧八千代台東第二小学校校舎の解体及び跡地の整備(仮称)学校給食センター東八千代調理場の整備、市庁舎整備等が予定されています。(財)

要望 最少の経費で最大の効果を生み出すよう最善を尽くしていただき、持続可能な財政運営に向けて、オール八千代の視点で予算編成に取り組んでいただきたい。

令和元年台風15号、台風19号及び10月25日大雨への対応

問 大和田南小学校地下調整池は、台風の際に使用したか。

答 現在、雨水を導く新設管を布設する工事を進めているところで、既設雨水管渠の接続を切りかえ、一部の地域の雨水を流入させて暫定的な運用をしています。この度の台風の際も調整池に貯留し、大雨等が過ぎた後に、ポンプ施設にて八千代1号幹線へ強制排水しました。(水)

地下汚染対策

問 浄水器の設置補助の導入について、市の見解は。

答 現状は、上水道への切りかえや布設拡大を第一に考えていますが、地区での合意形成や上水道の布設拡大が困難な場合は、他市を参考に、浄水器の設置補助について検討したいと考えています。(経)

地域ポイント制度

問 今後どのようにしていくのか、市の考えは。

答 やちちWAOONカードを活用した地域ポイント制度の実証実験の効果検証等を踏まえ、方向性を決定していきたいと考えています。(経)

要望 商工の活性化、支え合いのまちづくりという意味では「ゆいのわさ」も地域ポイントに含めた実証実験を検討していただきたい。

行政視察

岩手県盛岡市
盛岡ブランド推進計画

盛岡市は、人口減少、少子高齢化が進む中、「選ばれるまち」になるため、平成18年、「盛岡ブランド」推進計画を策定。当市もまもなく人口20万都市となり、「八千代らしさ」で差別化を図り、移住定住促進を図りたく、先進自治体の事例を視察した。地域ブランド構築のため以下の3項目を目指し取り組んできた。①「盛岡の有形・無形の地域資産」の魅力掘り出し、育み、磨き上げ、市外に発信する。②「盛岡らしさ」で他市と差別化、市内外から価値があり、選ばれるまちと評価されることでの活性化。③市民が「盛岡らしさ」の価値観を共有し、誇りと愛着を持って暮らすこと。シティープロモーションにおいては、県外向けのみならず、市民にも「盛岡ブランド」を浸透させ、「CIVIC PRIDE」を育み、自分の住む街の価値を再定義することに繋がっている。



岩手県滝沢市
交流拠点複合施設「ビッグループ滝沢」

「ビッグループ滝沢」は、当初「総合福祉センター」として整備が進められていたが、単なる箱物ではなく、新たな文化、産業の育成や賑わいを創出する施設へ方向転換。ホールや「コミュニティセンター」、「図書館」、観光情報&地産地消「アンテナショップ」が配置された複合施設として平成28年オープン。自主事業年間500本を実施。防災拠点としての配慮もある。イベントは、楽しいイメージ、おいしい食べもの、美しい音楽(文化)が無ければ人は来ない、という考えに基づき「稼ぐ」施設にするという観点は見習うべきところ。当市としても、公共施設の老朽化、使用目的の多様化による統廃合を検討する際、市民意見の反映方法、財源、運営管理などは是非参考にしたい。

秋田県
由利本荘市
学力向上の
取り組みについて

由利本荘市をはじめ秋田県は全国学力テストトップレベルを誇る。その教育行政を視察し、来年度からの新学習指導要領や、小中一貫校等への当市の取り組みの参考といたく視察。基本目標として、「人間性豊かで進取の気性に富む、たくましい子どもの育成」を掲げ、合わせて科学的な探求心を育み、確かな学力を身に付けさせる教育の推進に取り組んでいる。地域力を活かした学校づくりと学校力を活かした地域づくり、基盤・理念として、ふるさと教育、子どもに寄り添い、教え、導くこととしている。また、学力向上の要因のひとつとして家庭学習を重要視していることが分かった。三世帯同居が多いという地域特性に依るところが大きく、ベッドタウンで核家族が多い当市で同様の指導は難しいところだが、学校任せ、保護者任せにせず協働して、子どもが自宅学習できる環境を整える取り組みは学ぶべきところである。

